

福山南ロータリー・クラブ週報



ふれあい

RI第2710地区 創立 1963.10.3

承認1964.1.27 チャーターナイト 1964.9.27

会長／高垣邦雄 会長エレクト／藤岡一郎 副会長／阿部晋士 幹事／朝日奈正信 副幹事／後藤昇三
 例会会場／福山ニューキャッスルホテル 事務局／〒720-0066 福山市三之丸8-16 福山ニューキャッスルホテル Tel 924-5096
 Web site URL : <http://fukuyamasouthrotary.jp/> E-mail address : info@fukuyamasouthrotary.jp

2293回例会報告 2010年9月30日(木)

点 鐘 高垣会長
 司 会 多田SAA
 ソング 「それでこそロータリー」

<会長報告> 高垣会長



本日は9月最後の例会です。今週は政本英男さんの「新入会員卓話」ということで金融業界の珍しいお話が聞かれるものを楽しみにしています。

明日から10月です。タバコも明日から値上げとなるようです。私の友人で前回値上げの時「これが無くなったらタバコはやめる」と言っていたが現在もリッパにお吸いになっています。

本年度に入りまして初めての「新入会卓話」ということで、18年前、私が入会間なしに行いました「新入会員卓話」の一部をお話させて下さい。

今から40年以上も前の話になりますが、昭和42年(1967)ニューギニアのラバウルに造船所の建設と現地の人々の技術指導という事で半年間行っていました。当時は公的機関の海外青年協力隊などは無い時でしたが沼隈町の常石造船の合弁会社ニューギニア造船所の建設工事と溶接技術などの指導で行きました。

皆様もニューギニアはよくご存知ないかもしれませんが「ラバウル」の名前は聞きになられたと思います。「ラバウル小唄」のラバウルです。

ニューギニアは大変多くの部族が居ます。その部族ごとに言葉がちがうため争いごとが多く言葉を統一することにより意思の疎通をはかり、争いごとが無いよう言語を統一したのが「ピチンイングリッシュ」という言葉です。このピチンイングリッシュは英語を簡単にしたもので自分の事は「ミー」のみで相手の事は「ユー」で全て統一されています。また男性も女性も腰巻きの様な衣装を着ていますがそれを「ラップラップ」と言い、見ることを「ルックルック」と言い、話すことを「トークトク」と

言います。

この様に二つ並んだ言葉が多く三ヶ月もしたら大体何を話しているかは分かるようになります。言葉がある程度通じるようになった頃、戦争時の日本兵の人から日本の歌を聞き覚えで唄っているの、日本には「ラバウルソング」と言うラバウルの唄が有るんだよ、と話したが誰もそんな唄は知らないと言うので「ラバウル小唄」を唄って聞かせましたが、誰も知りませんでした。後で日本に帰ってその事を聞いたら「ラバウル小唄」は戦後出来た唄で、日本兵の方が帰国後ラバウルを懐かしみ出来た歌だそうです。だから現地の人には知らなかったと後でわかりました。

「カラスの子」「赤トンボ」「ハトポッポ」「夕焼けこやけ」など戦時中日本兵の人が日本を懐かしく思い口ずさんでいた歌を口伝で親から子供達へ歌い継がれていました。現地の人には日本人にたいしては大変親切で楽しい現地生活を送ることができました。

この続きは又の機会にお話をさせていただき事として以上で本日の会長報告を終わらせていただきます。

<幹事報告> 朝日奈幹事



◆ 地区事務局より

- 2010年10月のロータリーレートのお知らせ
1\$ = 86円
- クラブビルダー賞についてのご案内

クラブビルダー賞は、ロータリークラブをサポートし、強化するにあたって大きな影響をもたらしたロータリアンを称えるものです。毎年、地区ガバナーが1地区につき1名の候補者を推薦することが出来ます。(締切り10/15)

- 2010年7月大水害支援金に関する報告とお礼状
皆様からの支援金は特に甚大な被害を受けた庄原地区(庄原RC)へ送金。
庄原市へ防災パトロール車と支援金として贈

呈させて頂くことと致しました。被災地のロータリークラブを代表して心よりお礼申し上げます。(庄原RC 会長内田 直恵)

◆ 徳山RCより

➢ 2010-11年度RYLA実施概要

- 1.日程：平成22年11月13日(土)～14日(日)
- 2.会場：ホテル「ザ・グラマシー」
- 3.メインテーマ：

『私たちは 何が伝えられるのか?』

徳山RCと徳山RACの協同ホストで運営し、プログラムの中核は徳山RACの経験と知識と情熱で実施いたします。皆様方のご協力をお願いします。

出席者：三吉新世代奉仕委員長

◆ 広島県サッカー協会福山支部より

➢ 第42回山陽親善少年サッカー大会決勝大会の祝辞依頼

日時：10月11日(月) 9:00～ 開会式

会場：手城運動公園

会長・幹事・新世代奉仕委員長出席

◆ 例会変更ならびに休会のお知らせ

府中RC	10/11(月) → 休会(定款第6条第1節)
福山赤坂RC	10/12(火) → 10/10(日) 9:00～ (地区大会)
	10/19(火) → 10/17(日) 11:00～ 於 福山市西部市民センター (松永RC創立45周年記念式典)
	10/26(火) → 同日 16:00～ 於 例会場 (善行表彰式)

◆ 福山RCより

➢ 男の作る健康料理コンクールのご案内

本テーマは、福山ロータリークラブ共催事業です。募集協力をお願い致します。

◆ 福山東RCより

➢ 創立25周年記念誌(DVD)

<出席報告> 松本出席担当委員長

第2293回例会	会員総数	61名	ゲスト	0名
	会員出席数	46名	ビジター	0名
	出席率	80.70%	出席者総数	46名
第2291回例会出席率79.31% 修正出席率 86.21%				
(事後) 福山赤坂RC・・・阿部会員・藤岡会員 菅本会員・藪田会員				

(注)出席免除者7名 内3名出席 46÷57=80.70%

<親睦報告>

パートナー誕生日祝

住吉さん・・・9/22 黒田さん・・・9/30

高橋(敦)さん・・・10/5 仲達さん・・・10/11

結婚記念日祝 阿部さん・・・10/10 西谷さん・・・10/11

事業所創立記念日祝

井上さん・・・(株)井上鉄工所代表取締役会長 S19/9/29

小島さん・・・小島法律事務所所長 H20/10/1

田中さん・・・田中歯科医院院長 S44/10/3

入会記念日祝

瀬来さん・・・H1/10/5 筒井さん・・・H21/10/8

100%出席表彰 藤井さん(8年)

<スマイル・ボックス>

※「先達を敬う会」のお祝いを頂きありがとうございます。
・・・高橋(寛)さん

※先々週はお祝いを頂きありがとうございました。

・・・櫻田さん

※前々回の例会にて先達を敬う会のお祝いをして頂きありがとうございました。週報に写真が出て感謝しています。今後とも宜しくお願い致します。・・・佐藤(通)さん

※皆様のおかげで無事2年経ちました。ありがとうございます。

・・・小島さん

※先々週誕生日祝いありがとうございました。週報に久し振りに載りました。・・・仲達さん・高橋(敦)さん

※先日同窓会を兼ねて40年ぶりに早慶戦の応援に行ってきました。当日は強風、土砂降りの雨の中一生懸命に競技する現役学生を見て少し昔の自分を思い出しました。

残念ながら試合は負けましたが、その後は楽しい一時を過ごしました。

・・・黒田さん

<委員会報告>

森親睦委員長より

10/10(日)地区大会についてのご案内

・・・バスの行程について



<その他報告>



【福山南RCホームページリニューアルのお知らせ】

担当：三吉さん

10月1日付けにて福山南RCのサイトをリニューアル致しましたのでご案内申し上げます。

ます。

新しいサイトURLは、<http://fukuyamasouthrotary.jp> と

なります。

またメールアドレスは、info@fukuyamasouthrotary.jpに変更します。

なお、メールアドレスについては周知されるまでの間は受信できますが、事務局などからの送信につきましては新メールアドレスからと致しますので登録などの変更をお願いします。

サイト内には、会員専用ページを設けています。ここでは親睦例会や地区行事などの写真および週報などを掲載していきます。

会員専用ページに入るには、パスワード認証が必要となります。

※認証ページにて、ユーザーID：「RC」、パスワード：「minami」と入力してください。

なお、会員専用ページは、現在作成中のページもありますが順次作成し、ご案内致しますのでご期待ください。これからの運営管理は事務局および会報・資料保存委員会にて行っていくしますのでよろしくをお願いします。

【第59回備後地区生徒児童発明くふう展表彰式】

9月25日(土)、とおり町交流館に於いて福山南RCが後援しております第59回備後地区生徒児童発明くふう展の表彰式がとり行われ、会長代理として朝日奈幹事が臨席致しました。

備後地区の生徒児童の皆さんが自分の夢を描き、くふうを重ねられた作品が多く出品され、福山南ロータリークラブ賞として伊勢ヶ丘小学校様に楯を贈呈致しました。

【YAC 10月度事業案内】

平成22年度10月度事業は「月のうさぎは何歳か？」というテーマで広島大学の寺田先生の講演があります。

講演の中で、月の石（月隕石）を見せてもらうことができます。月隕石は、月から飛び出し地球にやってきた隕石のことです。月の研究に大変役立っています。今回みせていただく隕石は、1999年にサハラ砂漠で発見されたものです。多数のご参加をお待ちしています。

○日 時：平成22年10月16日（土）

18：00～20：00

○場 所：福山市霞町1丁目10番1号・

まなびの館ローズコム 小会議室3 & 中央公園・

○テーマ：「秋の天体観測と月の年齢についての講演」・

○プログラム・

18：00 開会行事・

18：10 講演「月のうさぎは何歳か？」・

広島大学理学研究科地球システム学専攻・

准教授 寺田 健太郎先生・

19：00 秋の天体観測・

全体説明 アストロクラブ福山 児玉 英夫先生・

（望遠鏡で天体観測）雨天の場合は天体観測にかわるプログラムを準備します。 〃

20：00 感想文 閉会行事

○会 費：200円(資料代)

緊急連絡先：080-1922-1027 事務局 大原博又は

090-8362-3100 事務局 三吉孝治まで

【福山プロバスクラブ10月例会ご案内】

日 時：10月20日(水) 18：30～20：30

場 所：福山ニューキャッスルホテル

プログラム：ゲスト卓話

広島県立歴史博物館主任学芸員 西村 直城氏

テーマ 「幕末の動乱と福山藩」

10/15～11/23の期間、広島県立歴史博物館で「幕末の動乱と瀬戸内海」展が開催されます。ゲストは此の企画展を担当されました。幕末、此の時代に福山藩が如何に翻弄されたか、郷土の歴史を知るよい機会であり、有益な楽しいひとときが過ごせると思います。ぜひメイクアップにご活用下さい。

<プログラム> 新入会員卓話



政本 英男さん

皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました政本でございます。本日は新人卓話という大役で非常に夜も眠れない日々を過ごしておりましたが本日

で開放されます。さて、私はあまり壇上で大勢の方々を前にしゃべることは苦手でありまして皆さんの貴重なお時間を十分にお役に立つようなことをお伝えすることができませんので、前もってご了承をお願いいたします。15年ほど前当社の人事部より若手社員に向けた講演依頼を受け研修所にて講義を行いました。以後二度と人事より声がかかっていませんので落第だったものと考えております。

さて、本題に入りたいと存じます。当クラブ、高垣会長の本年度のクラブテーマであります「温故知新」に関連したテーマにて卓話で行いたいと思います。まず「温故知新」を広辞苑で確認いたしますと、「古い事柄も新しい物事もよく知っていて初めて人の師となるにふさわしい意」「昔の物事を研究し吟味して、そこから新しい知識や見解を得ること。ふるきをたずねて新しきを知る」となっております。

私自身は1950年代後半の生まれです。またここにいらっしゃる方々皆さんもそうだと思いますが、すなわち前世紀の生まれ・前世紀の産物ということになります。小さいころは夏といえば蚊帳に蚊取り線香・団扇に風鈴そ

してすだれといったものが日本の夏の必需品でした。私より先輩の方々がたくさんいらっしゃるなかであまり偉そうに昔ばなしはできませんがすしお付き合います。小学校に入るまでは冷蔵庫も洗濯機もなくお袋は洗濯板でゴシゴシ、掃除といえば掃除機もなく、箒とちりとり、エアコンやカラーテレビなどは想像の世界、それが日本の家庭の姿でした。車はほとんどなく2輪が主体であり、鉄道といえば蒸気機関車であり当時の東海道の特急は「つばめ」と「はと」。東京・大阪間を黒煙を上げた蒸気機関車が8時間で走っていました。当時の常識では「まるでつばめのように速い」ということで命名されたのでしょう。その後、東海道線の電化によりビジネス特急「こだま」が誕生。東京・大阪間が6時間50分に短縮。さらに、新幹線が開通。東京大阪で3時間10分と劇的に短縮されました。「まるで光のように速い」ということで列車の名前は「ひかり」。実際に別名は「夢の超特急」と呼ばれていました。そのほかにも生活全般にわたって広範囲に技術革新が浸透、終戦からわずか20年ほどで日本人の国民生活は夢のような変貌をつけました。これが同じ国かと疑いたくなるように日本は変わったのです。

人間社会の常識や判断基準は、技術革新や経済基盤の変貌によって必ず変化してゆくものです。無論若干の遅滞はあります。人間は生まれ育った時代に吸収してきた知識や考え方が残存しがちであることは事実です。だから人間社会の常識は、技術革新や経済の変貌にはやや遅れをとります。

しかし、技術革新が浸透し、実用的な生活の場面で活用されるようになると、やや遅ればせながら、常識も変わらざるを得ない。かなり保守的で変化を好まない頑固者でさえ、現実が変化し続ける限り、10年もたてば意識は変わります。人間の集団である会社や学校、そして社会の制度や慣習もこれと同様で、遅ればせながら変化していきます。変化せざるを得ないからです。それが社会との適合です。適合できなければ衰退か消滅の道を歩むこととなります。

さて今年2010年。21世紀に入って10年目の年となります。10年一昔、20世紀は既に「前世紀」となりました。遠い昔になりつつあるのです。「あの頃はよかった」などという、昔を懐かしむ気持ちは誰にでもあります。しかし、昔は昔、今は今、過去の尺度が通用しなくなるのが歴史の必然であります。20世紀の常識の大半はもはや「前世紀の遺物」。その大部分は21世紀には通用しなくなりつつあるようです。

ここで、意識や常識の変化について若干の具体例をあげますと、まずは身近なもので、結婚適齢期。かつての女性の結婚適齢期は「クリスマスケーキ」にたとえられていました。20や21では早すぎる。22、23でもちょっと早い。24が売り時、勝負時。25では値引きしてでも売り

切ってしまう。26となると売れ残り。世間一般にこういう見方でありました。その後、女性の初婚年齢の上昇にて適齢期は「晦日そば」と表現されるようになります。つまり、年越しそばと同様、30・31が年貢の納め時でありました。32となると厄年となるからです。けれどもいまだきそんなことにこだわる人は少ない。結婚適齢期という言葉自体が消滅しつつあります。

例をもうひとつ。ペットボトルで麦茶やお茶が発売された当初、「お茶まで店で買うのか」といった批判的な意見が多くありました。けれどもそんな人々でさえ、いまではコンビニで自ら買っておられます。さらには「水はただ」というのが日本の常識でした。ところが今ではフランス製の水を買って呑む方もめずらしくない。ただの水。それもわずか500ミリのペットボトルを百何十円もだして平気で買っている。ペットボトルの水はガソリンより高いと考えたことはありますか。何十億もかけて、タンカーを建造し、はるばるペルシャ湾まで出かけ原油を積み込み、それを精製してガソリンにし、さらにタンクローリーでガソリンスタンドに配送。そこまで手間をかけたガソリンより天然水のほうが高いのです。何の疑問もなく平気で買っています。どれも若者から始まった風俗でしたが本当に意識は変わりました。「空気と水はただ」という意識は既に前世紀の遺物となっています。

最後の例として、それは合衆国大統領オバマ氏。第44代大統領であります。21世紀の今日、なんと黒人の大統領が実現したのです。キング牧師がリンカーンの記念堂前でおこなった崇高なる演説「私には夢がある」の趣意は完全に実現しました。これは、まさしくキング牧師でさえ夢にも描けなかった大変化といえます。オバマ政権の評価は別として、私は、アメリカ国民の意識変化と勇氣には感服します。自民党から民主党に変わったこともすごいことと思いますがこれは次元が違うように思います。

時代は変わります。諸行無常、人の世は変わり続けています。いろは歌にいうがごとく「我が世、誰ぞ常ならむ」であります。前世紀の常識・遺物にいつまでもしがみついているようでは、活力は消滅してしまいます。

21世紀も10年を迎え日本の経済社会は前世紀の後半とはすべてが逆の潮流にあります。まず、第一は人口増加が終了し、人口減少の社会に移行したこと。当然ながら人口減少エリアに消費拡大はありえません。前世紀の特徴である内需拡大などは全く期待できません。多少の期待が持てるのは高付加価値の製品輸出ぐらいでしょうか。第二に前世紀のインフレ基調からデフレ基調への経済移行です。エネルギーと食品以外はこれからもデフレが持続すると考えられ、商品のみでなく資産価格である土地も下落が続く見通しです。中国やインドをはじめアジア諸国の商品供給力は今後も衰えることなく続きます。第

三は経営戦略の激変です。前世紀は果敢に先行投資を行う拡大戦略が日本企業の基本姿勢でした。設備投資だけでなく、雇用面でも業容拡大を目指しました。しかし成長の止まった現在では過去の負の遺産処理が優先され大きな「つけ」に難渋しています。企業年金の財源不足など企業の苦渋は日本の国家財政の姿でもあります。

暗い話題となりましたが、21世紀前半の日本の最大の弱点はなんと言ってもリーダー不足にあります。65年前の敗戦の混乱期には各界にリーダーにふさわしい人物が大勢でした。経済界でいえば松下幸之助や本田宗一郎のような創業者だけでなく、サラリーマン重役や部課長クラスの現場リーダーでさえ腹の据わった人材が多かったと思います。今の日本をみると、政官財、そして学者においても腹が据わった人物が少なくなっている気がします。柔軟な発想と常識に囚われない自由闊達さと洞察力がますます経営者、リーダーには必要だと思われます。自由闊達な人物は、社交の場でも印象が鮮明で新たな人脈が広がるという副次的効果があり将来の糧となるものです。

さて、先月PHP発刊の堀紘一氏著書の「日本の成長戦略」という書籍を読みましたが、既に皆様の中にも購読された方もいらっしゃると思いますが、日本の国家戦略として官民一体の活動のまずさが凋落しつつあるわが国のリーダー不足に現れていると感じます。幸いにも最近になり国益を考え、羽田空港へのハブ化工作、港湾整備の見直しに着手し韓国、アジア諸国に対抗した方針が進みつつあります。また、前原大臣も新幹線等の売り込みと国家をあげた取り組みと政官民での活動が目立ってきました。今までも当然ながらOECDがらみの推進等はありませんでしたが、やっと他国並みの活動となってきたように感じます。さらには、宮崎県知事の東国原さんのように日本製品を積極的にPRや売込みをしていただけた大臣等を期待します（企業との癒着等小事の問題懸念は多少ある）。著書の中に今後の世界経済を考える上でアメリカと中国という2大大国という構想すなわち、ユダヤと華僑の時代になるとされています。先日の尖閣諸島問題でクローズアップされた国土問題においても今後の展開が懸念される場所ですが、日本には尖閣のみならず竹島、北方領土問題もあります。竹島については経済的価値がまだ漁業等に限られ韓国に実質支配されていますが、これも長期間支配続けられると問題となるのは明白です。国内においても土地の境界について実質支配続けられていますと所有権に影響も出ます。占有権から移り所有権の取得時効というものですが、これは専門家である小島さんにお伺いするといいいでしょう。尖閣に戻りますと中国は海底資源等の経済価値に国家・国益として対応している面が強く中国の世界中での資源の買いあさりを見れば明白です。また昨今のアメリカの中国戦略による影響

が出てきたものだと思います。沖縄の基地問題がありますが、今回の尖閣問題で同県の漁業関係者から中国に対する不安な意見が出てき始めましたが抑止力からやはり米軍の駐留は必要とのコメントは少ないように思われます。中華思想はまだまだ健在で近隣支配の考えかたは残っているもので日本人の特有の「和」の精神で対応しがたい面もあります。特に長年アジアにおける超大国として君臨し周辺諸国を属国にするも日本だけが中国と対等に交渉してきたという歴史もあります。聖徳太子の時代から日の出る国からに始まり日清戦争等アジア諸国で中国に苦渋をさせたのはモンゴルを除くと日本のみであり特に日本に対しては中国での日本たたき・反日感情は簡単には解決するものではない歴史があります。また国家戦略として利用されていることも周知の事実です。先にも述べましたが本来なら現実が変化しつつある限り意識も変わるものですが国家統制されている中国での変化は大きく変わらないと思われまふ。今回の問題でも来日している中国の人たちや世界へ出ている中国の人の多くは中国政府の行動に驚きを感じているとの報道もあるのも事実です。日本人は「和」の精神がありまた、「水に流す」という考えがあり、最悪の掟破りをした者でも「村八分」といい残りの二分の葬式と火事は協力するといった相互に助け合う精神はあるものの、中国との付き合いについてはまだまだ適応するものとは思えません。今後の経済を考えると中国抜きでは語れませんが、日本として中国と今後も対等に交渉をと考えるならば堀氏の考えどおりASEAN・韓国・日本連合を推進し中国の経済力に対抗しうる経済圏を確立するなどの国家戦略は必要であるとの考えには賛同できます。今はアメリカの抑止力があり、もちろん現在社会を考えると民族闘争以外では武力衝突に進むとは一遍も考えられないものの、中国との対等な交渉が可能な時期にあるのはアメリカありきであり、沖縄の基地問題にしても中国の脅威と対抗できる基盤ができた上で考えるべき問題だと思っています。私自身は「朝まで生テレビ」という番組が好きで、今後尖閣問題がテーマとなることは間違いなく再度今後の日本の歩みについて考えたいと思っています。また今回の尖閣問題については皆様方も非常に関心があり、ご意見や考えもあることと存じますがまたお話を聞ければと存じます。

取り留めのない話になり、また、少しロータリアンの精神に抵触した面もありましたがご勘弁願います。ご清聴ありがとうございました。

<持回り理事・役員会> 9月30日

- ① 「第42回山陽親善少年サッカー大会」お祝金について
お祝金¥50,000
理由 ・10月11日(日)決勝大会開会式に会長・幹事・新世代奉仕委員長出席

2294回例会報告 2010年10月10日(日)

会長報告 高垣会長

幹事報告 朝日奈幹事

(地区大会帰りのバスの中で行いました。)

<地区大会>

会場：広島県立みよし公園 カルチャーセンター体育館

時間：9：00より



- ◆本日例会（2295回）10/14（木）
※クラブフォーラム・地区大会報告
※10月号雑誌紹介
~~~~ これからの予定 ~~~~
- ◆次回例会（2296回）10/21（木）  
※職業奉仕委員会関係
- ◆次々回例会（2297回）10/28（木）  
※ゲスト卓話 「温故知新」シリーズ第2弾  
「恋しき」復活 甦った府中の文化  
／ 府中RC 松坂敬太郎さん

(クラブ週報担当：高橋 敦・筒井 良子)